

地域を支えるリハビリテーション・カンファレンス

全県下での展開

- 358-363 1 我が県、我が町の地域ケア会議—大分県における全県下での展開
●田井祐二

- 364-367 2 大分県の地域ケア会議への取り組みに関するリハ専門職のかかわり
●河野礼治

市町村での地域ケア会議の展開

- 369-373 3 個別地域ケア会議におけるリハ専門職の役割
—岡山県津山市の取り組みから
●安本勝博

- 374-377 4 個別地域ケア会議は望む生き方を支援する場
—医療機関に勤務する作業療法士の視点で感じたこと
●牧 卓史

地域リハ支援センターでの地域ケア会議推進への取り組み

- 378-384 5 地域を支える地域ケア会議におけるリハ専門職の位置づけとかかわり方
●木野田典保, 他

- 385-388 6 地域ケア会議における言語聴覚士の役割
●山本 徹

- 389-397 7 リハビリテーション会議の実際
●大内伸浩, 他

地域包括ケアシステム構築に向けては、高齢者個々の課題解決と併せ、地域ニーズの掘りおこしが重要であることが指摘されている。その手法の一つに地域ケア会議が位置づけられる。厚生労働省は、全国の市町村がこの地域ケア会議を開催するように啓発している。

本特集では、地域を支えるリハビリテーション・カンファレンスの立場から、この地域ケア会議と昨年の介護報酬改定で新たに収載されたりハビリテーション会議の実践例をできるだけ具体的に紹介した。今後、この方面へのリハビリテーション関係職種の活躍を期待したい。

企画担当 ● 佐藤浩二（大分岡病院，作業療法士）